

## 1 最適な介護サービスの提供について

- 岡山市の65歳以上の被保険者は、平成12(2000)年に介護保険制度が始まって以来、令和元(2019)年には約1.8倍に増加し、要介護(要支援)認定者は約2.6倍に増加しています。また、令和7(2025)年には、団塊の世代が後期高齢者となり、令和32(2040)年頃には、団塊ジュニアも前期高齢者となることから、今後も要介護認定者の増加が見込まれています。
- 一方、生産年齢人口は減少し始めており、人口構造の変化等を踏まえ、介護サービスの在り方やサービス提供体制の確保に向けた検討が必要となっています。
- 高齢者実態把握調査によると、在宅生活している要介護認定者のうち、施設入所等を検討している割合は約2割であり、在宅生活を望む利用者が多くいる一方で、主な介護者は在宅生活を継続する上で「認知症状への対応」に不安を感じています。
- 岡山市の在宅系サービス、施設・居住系サービスともに、人口あたりの事業所数は政令指定都市(以下、政令市。)の中でも高い整備率となっており、他都市に比べ利用者が介護サービスを選択しやすい環境にあると言えます。今後さらに見込まれる介護給付費の増加や介護保険制度を取り巻く状況が厳しさを増す中、豊富な介護資源をいかしながら、サービス水準と保険料のバランスを確保していくことが求められています。また、施設でなければ生活が維持できない人に対するサービス量を確保することも必要となります。
- 岡山市の特別養護老人ホームの入所待機者は、これまで施設整備を計画的に進めてきたことや、平成27(2015)年に特別養護老人ホームの入所基準が変更されたことに伴い、おおむね減少傾向にあります。
- 岡山県の特別養護老人ホーム待機状況調査では、岡山市の待機者の約4割が自宅で待機する「在宅者」となっています。また、待機者の現在入居中の施設等としては、介護老人保健施設、医療機関、グループホームの順となっています。
- 特別養護老人ホーム等の高齢者施設では、新型コロナウイルス感染症等が発生した際に集団感染に拡大する恐れがあり、高齢者は重症化リスクも高いため、十分な感染防止対策が必要とされています。また、災害発生時には、自力での避難が困難な人も多いため、避難計画の作成や災害に備えた施設の整備等が必要とされています

### 【在宅系サービス】

- 高齢者実態把握調査の結果からも、医療的サービスの需要も大きいことを把握しており、医療・介護ともに必要としている要介護者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、サービスの充実が必要です。
- 医療・介護ニーズに対応するため、「看護小規模多機能型居宅介護」や「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を含めた計画的な事業所整備を推進します。

### 【施設・居住系サービス】

- 人口構造の変化、地域におけるサービス提供体制の偏在性、介護人材不足など複合する課題を総合的に検討する必要があります。
- 高齢者実態把握調査の結果から、認知症状への対応に不安を抱える介護者も多くいること、今後も認知症高齢者数の増加が見込まれることから、「認知症対応型共同生活介護」を含めた計画的な事業所整備を推進します。

## 2 主な在宅系サービス

### ①小規模多機能型居宅介護

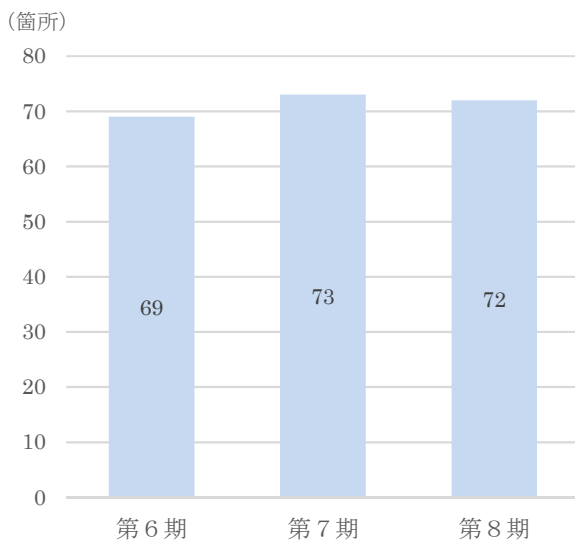
#### [現状]

- 市内には72事業所あり、20政令市中第1位（高齢者人口1万人当たり）の整備率となっており、令和4年度末までに、36中学校区中35中学校区で整備されています。
- 利用者は、令和4年度実績で要介護1が最も多く、次に要介護2、要介護3となっており、軽度から中度の方が利用しています。
- 給付費は第6期以降、緩やかに増加しています。

#### [課題・論点・整備方針等]

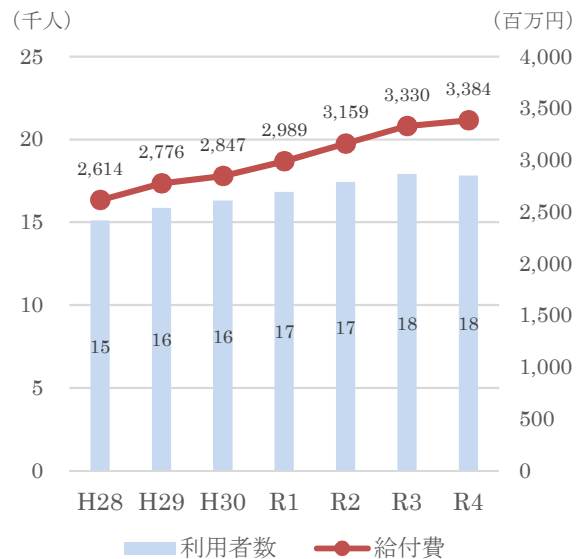
- 高齢者や家族の状態に合わせて、「通い」を中心に、「泊まり」や「訪問」を、柔軟に組み合わせることにより、高齢者が中重度になっても安心して在宅生活を続けるために必要なサービスです。
- 24時間365日の切れ目がない関わりの中で、本人や家族をよく理解してバランスよくサービス提供する必要があります。

小規模多機能型居宅介護  
事業所数の推移



出典：事業者指導課独自集計

小規模多機能型居宅介護  
利用者数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

## ②看護小規模多機能型居宅介護

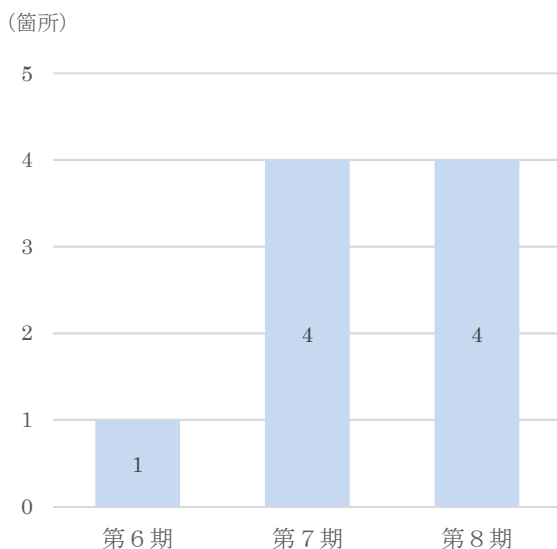
### [現在の状況]

- 第6期で北区に1事業所、第7期で南区に2事業所、中区に1事業所を指定しました。8期に北区に1事業所を指定しましたが、1事業所が休止となり事業所数に変化はありません。東区には事業所がない状況です。
- 利用者は、令和4年度実績で要介護5が最も多く、次に要介護2、要介護1となっており、医療ニーズの高い方が利用しています。
- 地域で暮らし続けることができるよう多様な療養支援を行うサービスであり、利用者は増加しています。

### [課題・論点・整備方針等]

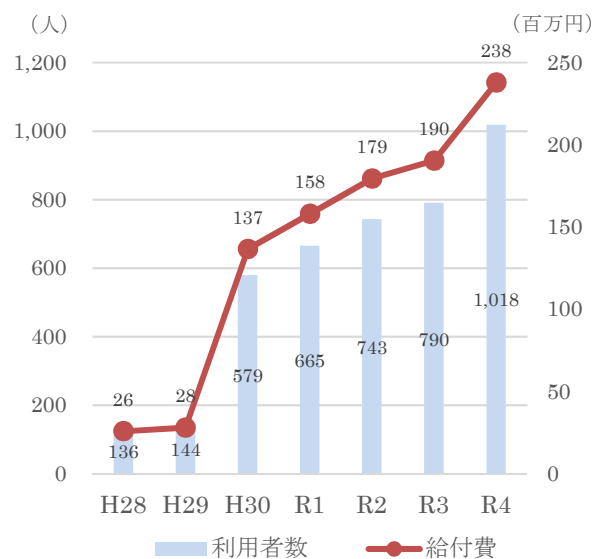
- 小規模多機能型居宅介護事業所に医療ニーズの高い利用者の状況に応じて療養支援等の多様なサービスを提供するものであり、今後も、医療と介護の両方のサービスを必要とする高齢者数の増加が見込まれるため、引き続き事業所数の増加を図る必要があります。
- 認知症の高齢者についても、「通い」「訪問」「泊まり」に加え、「訪問看護」も同じ事業所で提供するなど、多職種で連動し支援していく必要があります。

看護小規模多機能型居宅介護  
事業所数の推移



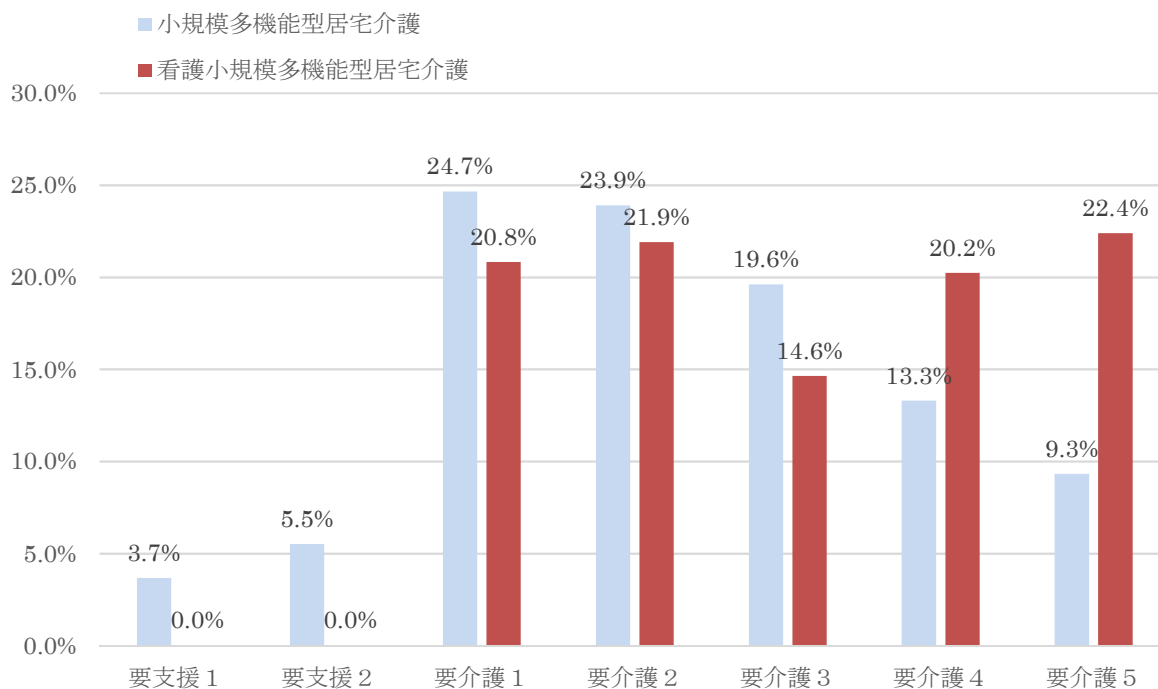
出典：事業者指導課独自集計

看護小規模多機能型居宅介護  
利用者数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護  
要支援・要介護度別利用割合（令和4年度）



出典：事業状況報告年報データ

### ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護

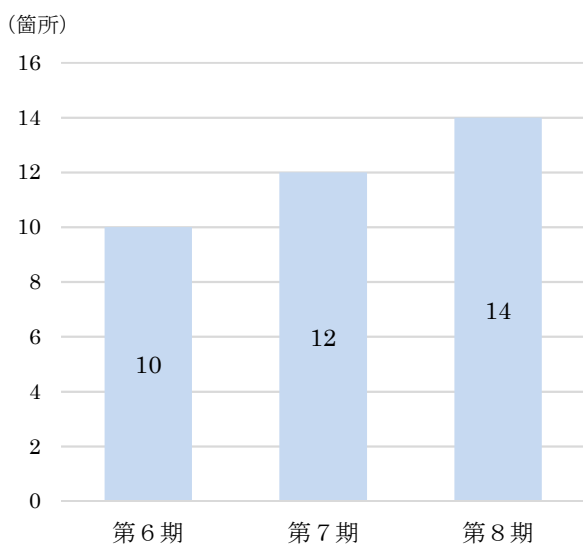
#### [現在の状況]

- 医療ニーズが高くなっても在宅生活を支援できるサービスであり、**20 政令市中第3位(高齢者人口1万人当たり)の整備率**となっています。
- 施設開設準備経費の補助金活用により第8期中に2事業所が開設され、事業所数は増加傾向です。

#### [課題・論点・整備方針等]

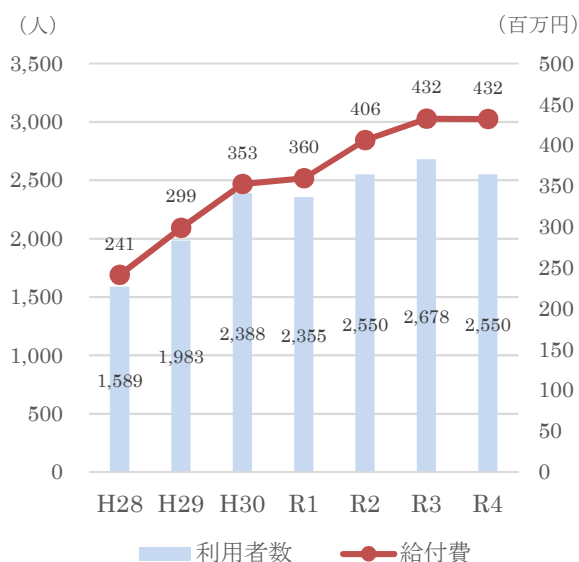
- 地域包括ケアシステムの中核サービスとされ、国も引き続き、整備を推進する方針**です。
- 岡山県地域医療介護総合確保基金事業費補助金を活用し、事業所開設に当たっての機器導入の負担軽減などを通じて事業所数の増加を図ります。
- 医療ニーズの高い高齢者や認知症又は重度の要介護高齢者の在宅での生活を支えるため、必要なサービス量の確保に向け更に整備を進めます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
事業所数の推移



出典：事業者指導課独自集計

定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
利用者数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

#### ④認知症対応型通所介護

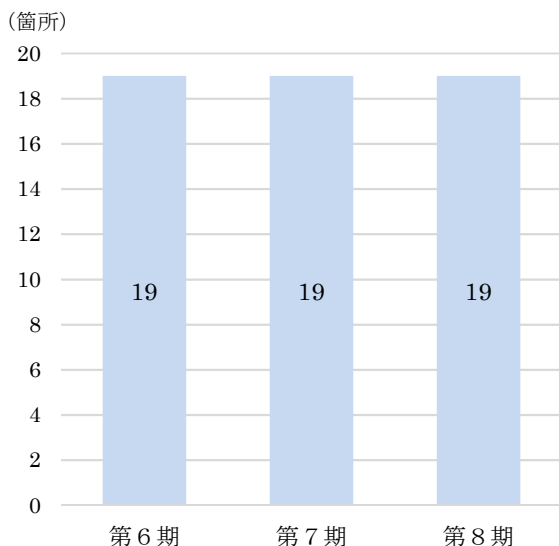
##### [現在の状況]

- 市内には19事業所あり、多少の増減はあるものの、第6期以降横ばい状態です。給付費については、第8期中横ばい状態です。
- 利用者は、自立度がⅡb、Ⅲaの方が多く、在宅で介護ができるレベルの方の利用が多いことが分かります。

##### [課題・論点・整備方針等]

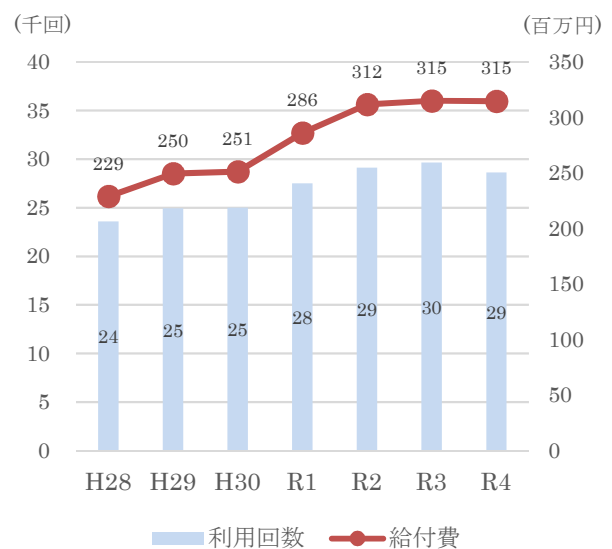
- 認知症の方を対象に限定し、その特性に配慮した専門的なサービスを提供する事業所です。
- 認知症の特性で環境に適応しにくい方でも、比較的少人数のグループでサービス提供を受けることができるため、利用しやすいと言えます。
- 通所介護に比べ単価が高いため、認知症を有する方でも、通常の通所介護を利用する方が多いです。

認知症対応型通所介護  
事業所数の推移



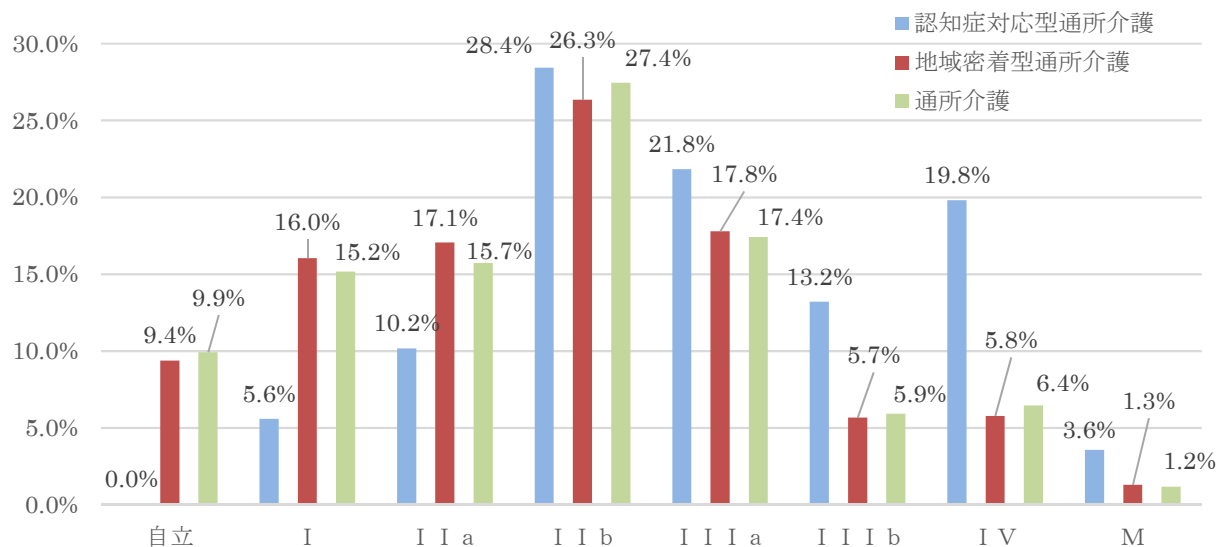
出典：事業者指導課独自集計

認知症対応型通所介護  
利用回数・給付費の推移



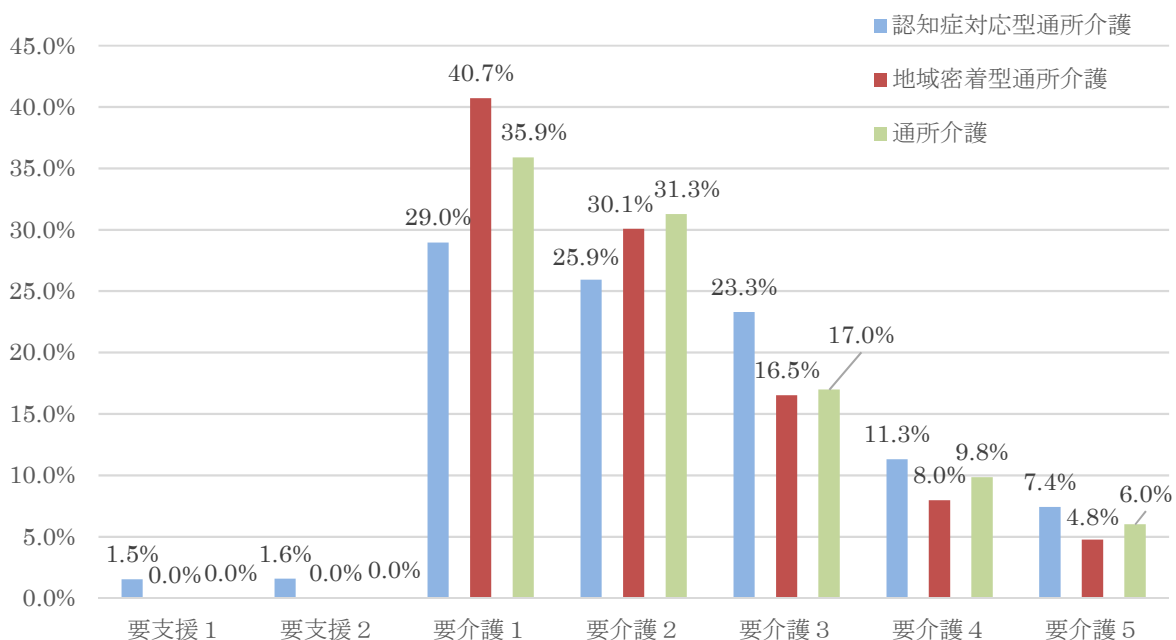
出典：事業状況報告年報データ

認知症対応型通所介護・地域密着型通所介護・通所介護  
認知症高齢者の日常生活自立度別利用割合



出典：介護保険課独自集計

認知症対応型通所介護・地域密着型通所介護・通所介護  
要介護度別 利用者割合（令和4年度）



出典：事業状況報告年報データ

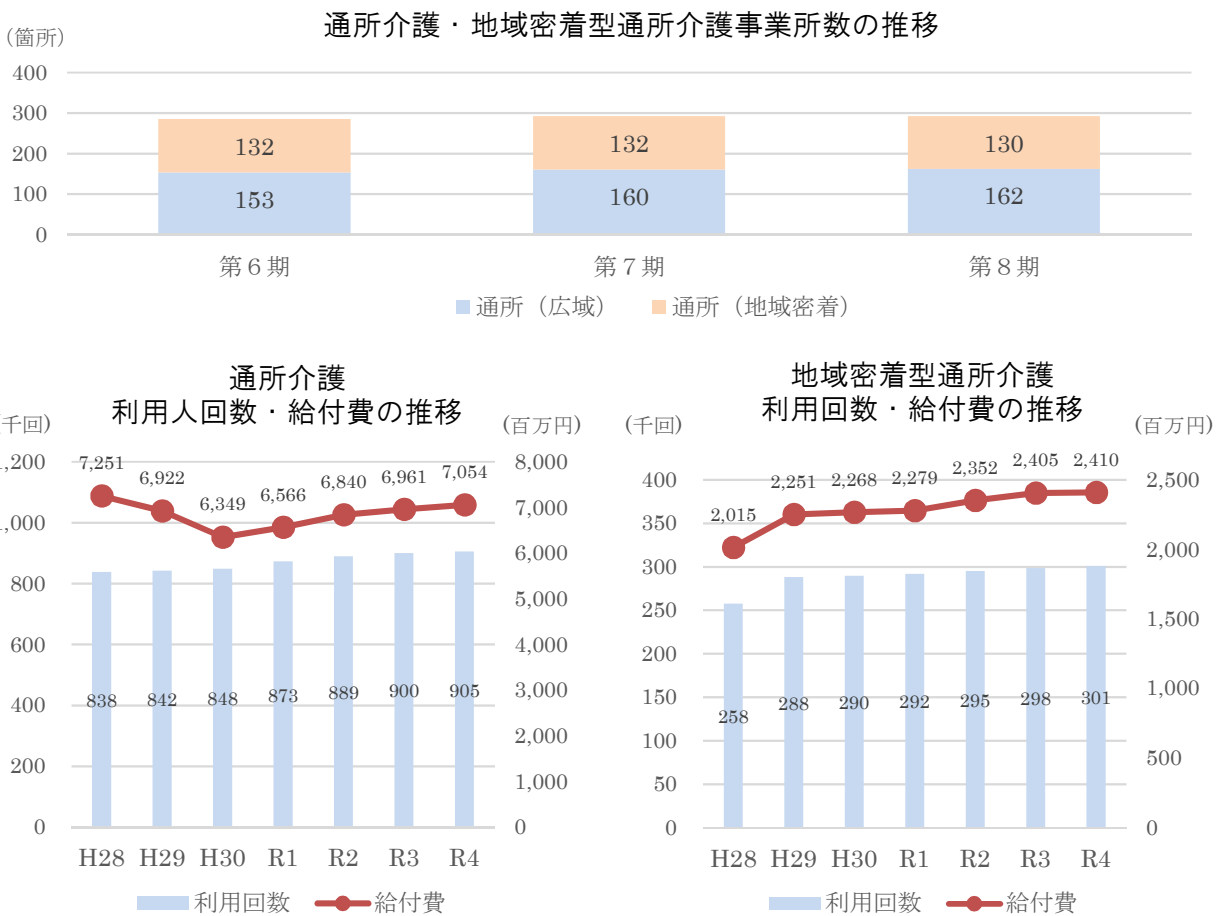
## ⑤通所介護・地域密着型通所介護

### [現在の状況]

- 市内に通所介護は162事業所、地域密着型通所介護は130事業所あります。
- 通所介護および地域密着型通所介護は、それぞれ20政令市中第2位および4位（高齢者人口1万人当たり）の整備率となっており、全ての中学校区で整備されています。
- 利用者は、要介護1が最も多く、次に要介護2、要介護3となっており、軽度から中度の方が多く利用しています。
- 認知症高齢者の日常生活自立度では、Ⅱbが一番多く、次にⅢa、Ⅱaとなっており、比較的軽度の認知症の方が多く利用しています。
- 通所介護事業所全体では、第6期以降事業所数に大きな変化はありません。

### [課題・論点・整備方針等]

- 認知症の症状がある方にも対応できることに加え、機能訓練に力を入れるなど提供するサービスも多様化しています。引き続き、自立支援の取組の定着、拡大の必要があります。



出典：事業者指導課独自集計

出典：事業状況報告年報データ



## ⑥通所リハビリテーション

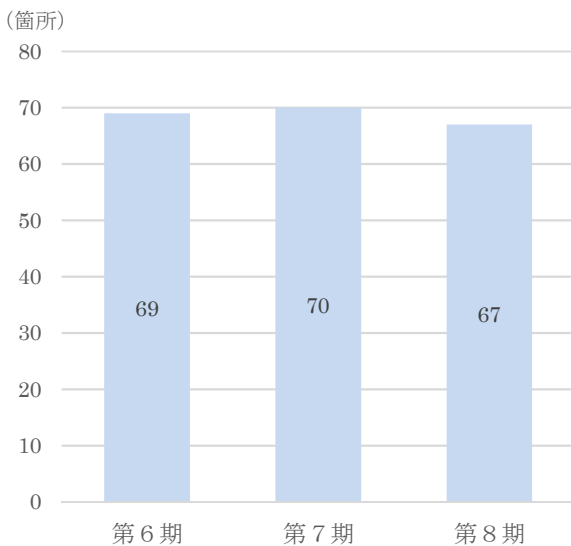
### [現在の状況]

- 利用回数・給付費ともに減少傾向に転じています。
- 事業者数に大きな変化はありません。
- 利用回数および給付費ともに、令和2年度以降減少しています。

### [課題・論点・整備方針等]

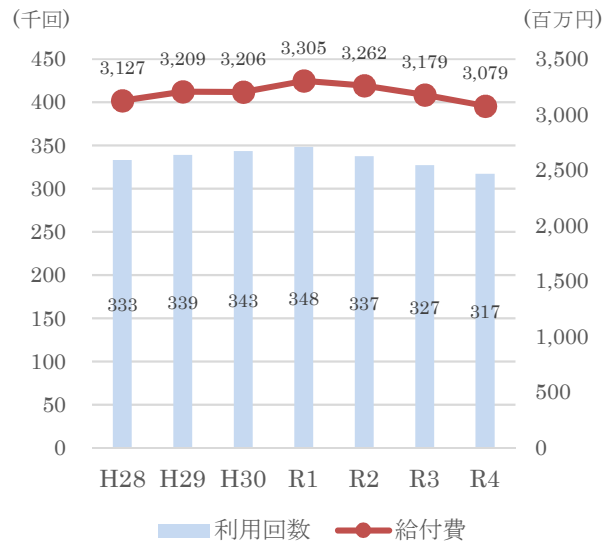
- 通所リハビリテーションと通所介護との区別化が図られる必要があります。通所リハビリテーションでは、理学療法士等の配置を要件とする加算が設けられ、リハビリ専門職の配置促進が図られていますが、理学療法士等の確保が課題となっています。
- 医療のリハビリから介護のリハビリへ、切れ目のない支援を行うことが必要です。

通所リハビリテーション  
事業所数の推移



出典：事業者指導課独自集計

通所リハビリテーション  
利用回数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

## ⑦訪問リハビリテーション

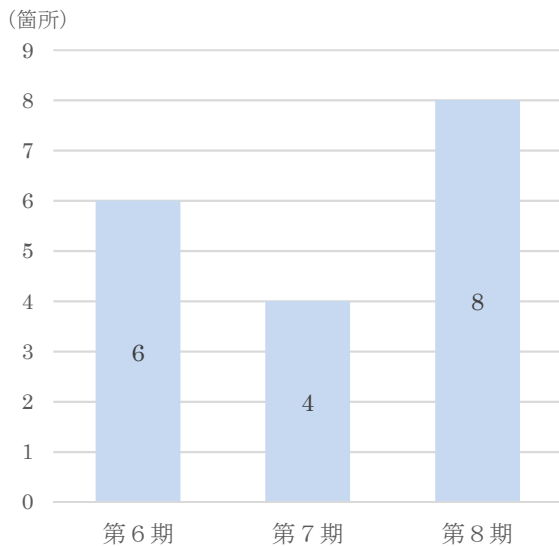
### [現在の状況]

- 通院が困難な居宅要介護者について、計画的な医学的管理を行っている医師の指示に基づいて訪問し、身体機能の維持回復を図るための機能訓練等を行います。
- 一般指定の事業所は非常に少なく、事業所数は微増。病院・診療所等医療機関は、別に訪問リハビリテーション事業所の指定申請手続きを行わなくても、医療みなし指定事業所として訪問リハビリテーションを提供することが可能です。

### [課題・論点・整備方針等]

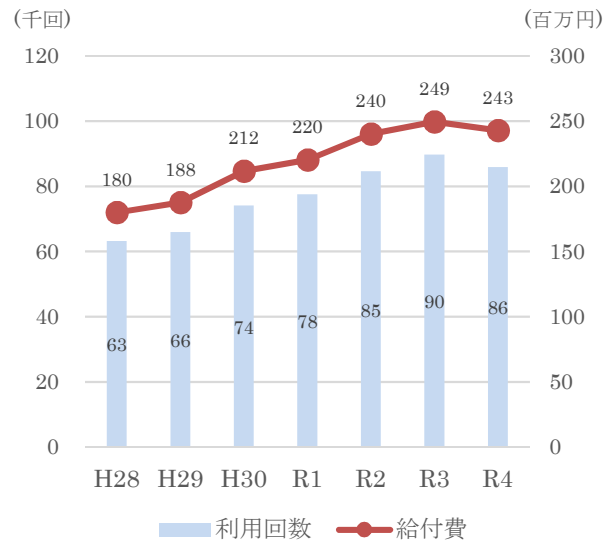
- 要介護者の動向と介護資源等の把握に努め、リハビリテーションを必要とする利用者が適時かつ適切にサービスを受けることができ、生活機能の維持・向上を図ることができるよう、提供体制を構築していきます。

訪問リハビリテーション  
事業所数（一般指定）の推移



出典：事業者指導課独自集計

訪問リハビリテーション  
利用回数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

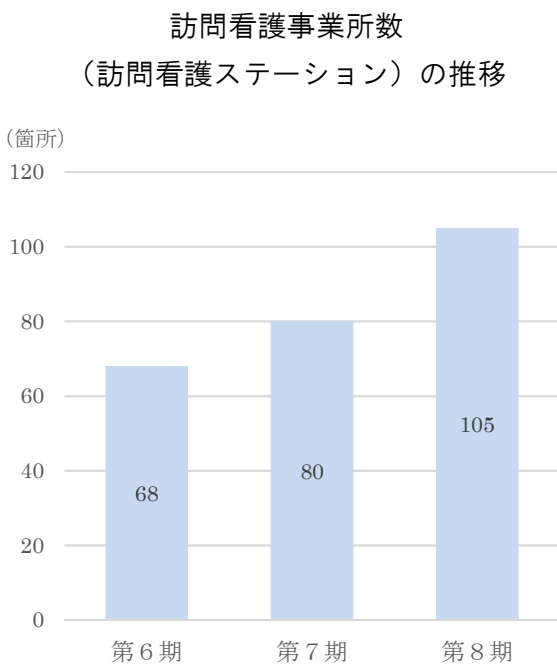
## ⑧訪問看護

### [現在の状況]

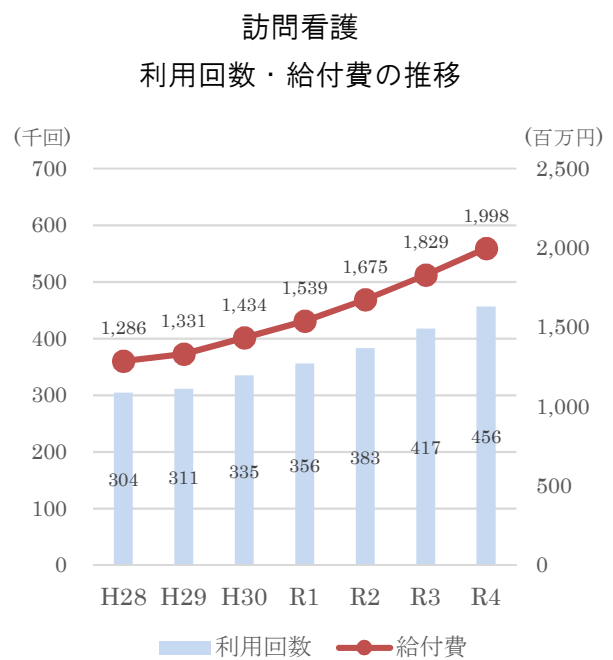
- 疾病又は負傷により、居宅において継続して療養を必要とする要介護者に対し、**主治医の指示に基づき看護師等が療養上の世話又は診療の補助を行っています。**
- 病院や診療所など医療サービスを行っている事業者は、介護サービスの指定申請手続きをしなくても訪問看護を提供できます。
- 医療ニーズの高い方が在宅生活を送るためには欠かすことのできないサービス**であり、また終末期の看取りまで行う訪問看護事業所も年々増えてきていることから、**今後も利用の増加が予想されます。**

### [課題・論点・整備方針等]

- 事業者数は増加している**が小規模事業所も多く、安定的な提供体制の整備が必要です。



出典：事業者指導課独自集計



出典：事業状況報告年報データ

### 3 主な施設系・居住系サービス

#### ①介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

##### [現在の状況]

○岡山市の特別養護老人ホームの入所待機者は、これまで施設整備を計画的に進めてきたことや、平成27年に特別養護老人ホームの入所基準が変更されたことに伴いおおむね減少傾向にあります。

##### 【広域型（県）】

増床・整備なし。

##### 【地域密着型（市）】

日常生活圏域（中学校区）での整備を進め、現在33施設が整備されています。また第8期中に選定した1施設（29床）を整備中です。

##### [課題・議論・整備方針等]

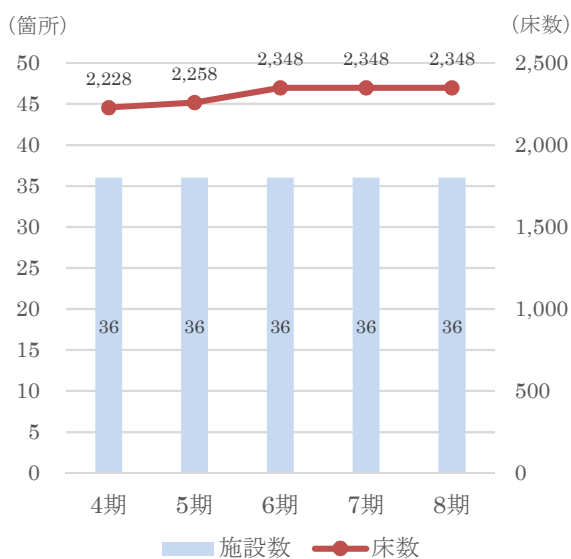
##### ●【広域型（県）】

整備なし。

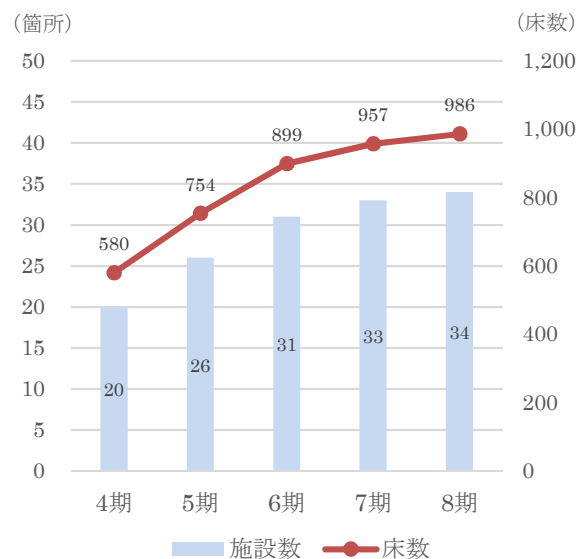
##### ●【地域密着型（市）】

地域の介護・福祉の拠点としての位置付け及び第8期での応募の状況も考慮し、1施設29床の整備を行います。

介護老人福祉施設  
施設数・床数の推移

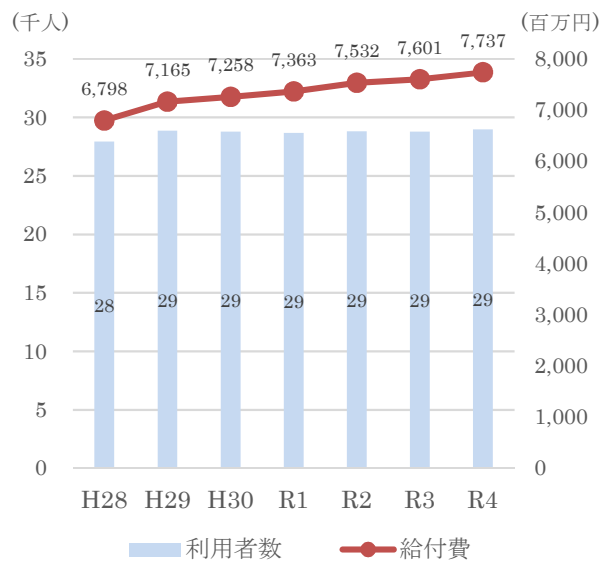


地域密着型介護老人福祉施設  
施設数・床数の推移

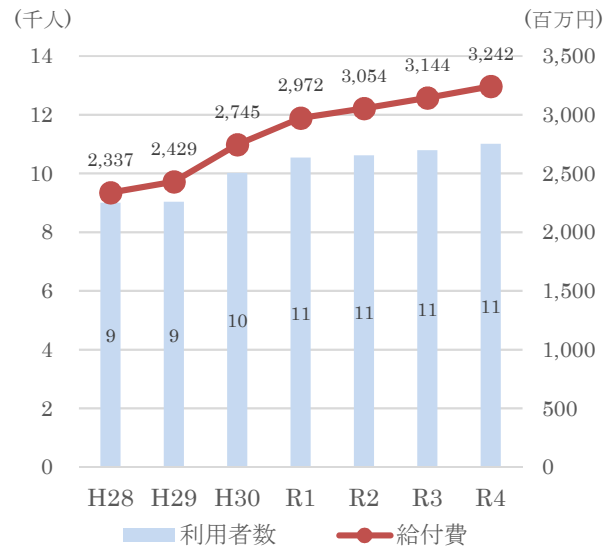


出典：高齢者福祉課独自集計

介護老人福祉施設  
利用者数・給付費の推移



地域密着型介護老人福祉施設  
利用者数・給付費の推移



出典：事業状況報告年報データ

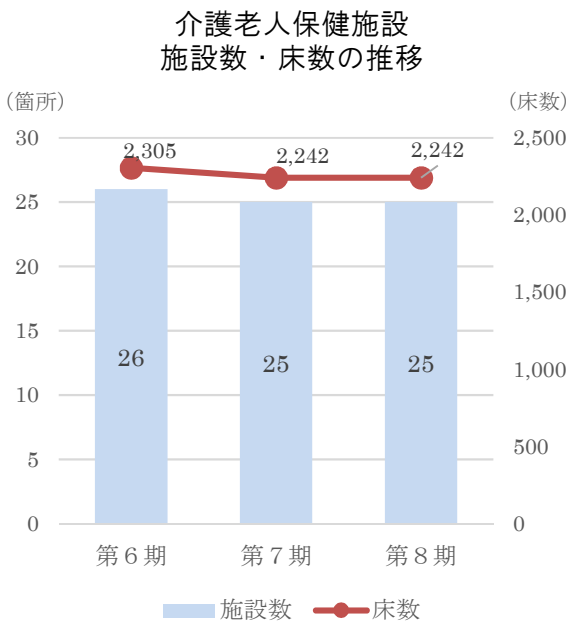
## ②介護老人保健施設

### [現在の状況]

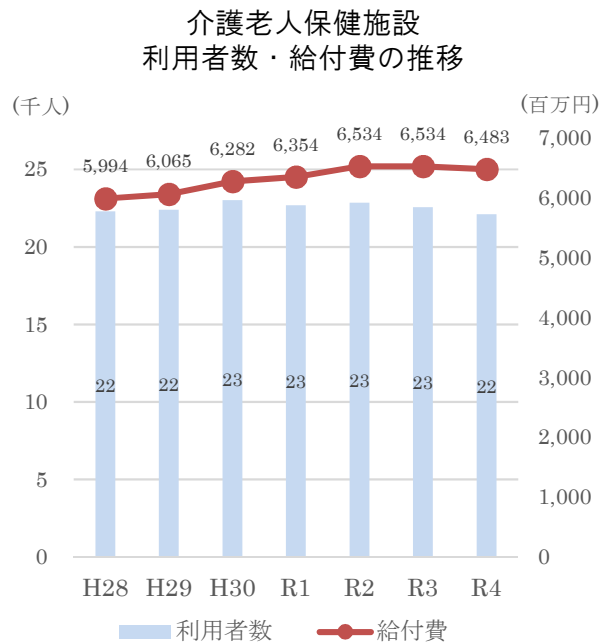
- 心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるようにするための支援が必要である者に対し、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うサービスです。
- 第8期中の利用率は約84%と余裕があります。

### [課題・論点・整備方針等]

- 他の政令市に比べても整備が進んでおり、利用率からも需要を十分に満たしていると考えられるため、**第9期では整備しない方針です。**



出典：事業者指導課独自集計



出典：事業状況報告年報データ

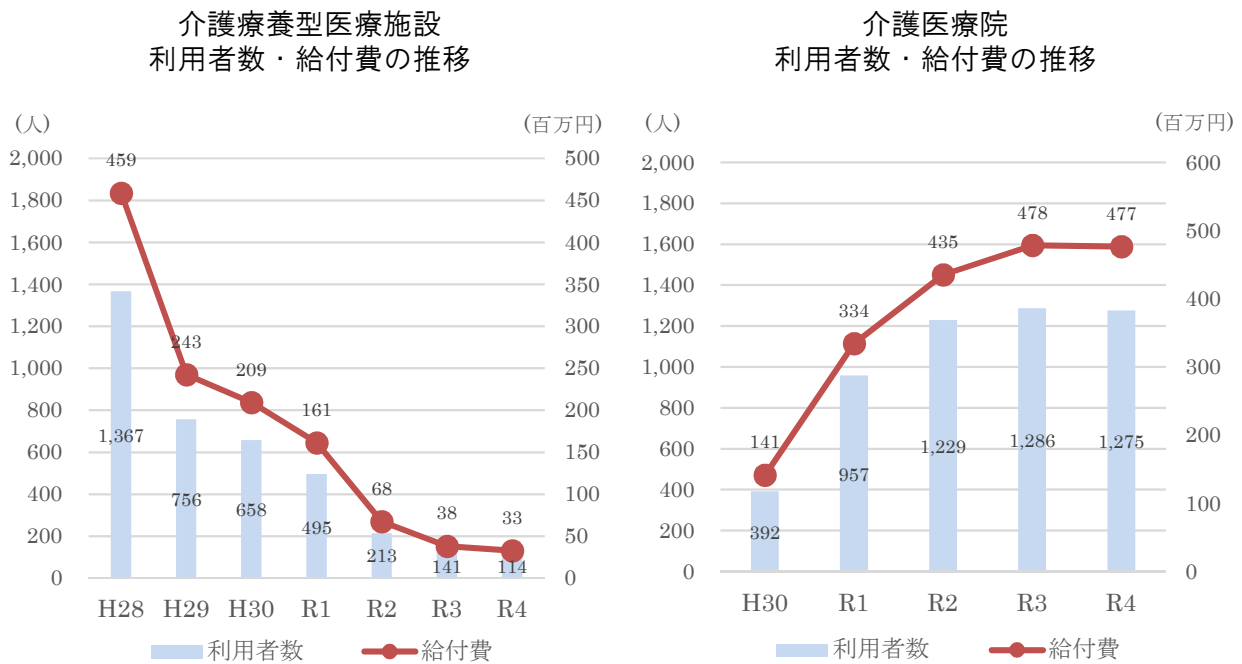
### ③介護医療院

#### [現在の状況]

- 長期にわたり療養が必要である者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うサービスです。
- 第8期中に1施設15床が介護療養型医療施設から転換予定です。
- 第8期中の利用率は約85%と余裕があります。

#### [課題・論点・整備方針等]

- 第8期に介護療養型医療施設からすべて転換が行われ、利用率からも需要を十分に満たしていると考えられるため、**第9期では整備しない方針です。**



出典：事業状況報告年報データ

#### ④認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

##### [現在の状況]

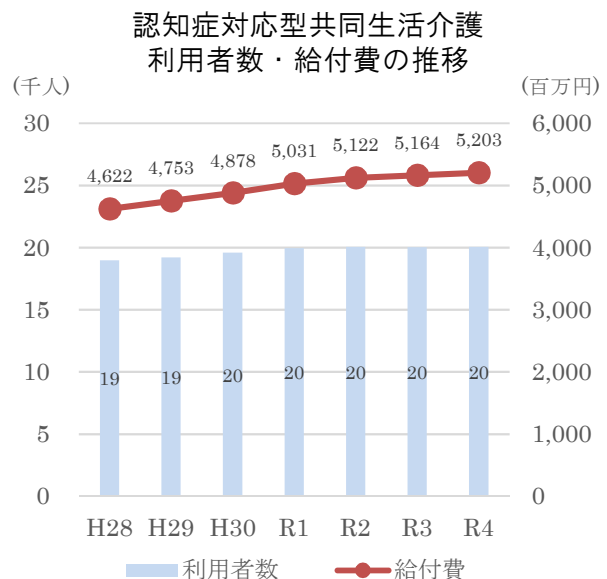
- 認知症の高齢者に対し、共同生活を営むべき住居において入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うサービスです。
- 第8期では、2施設36床の公募を行い、その内1施設18床が開設済、1施設18床が第9期中に開設予定です。
- 第8期中に第7期分からの1施設18床が開設し、計2施設36床が整備されましたが、1施設の一部3床が廃止されたため、結果として33床の増加になります。
- 20政令市中第1位（高齢者人口1万人当たり）の整備率となっています。
- 利用率は約96%と高くなっています。

##### [課題・論点・整備方針等]

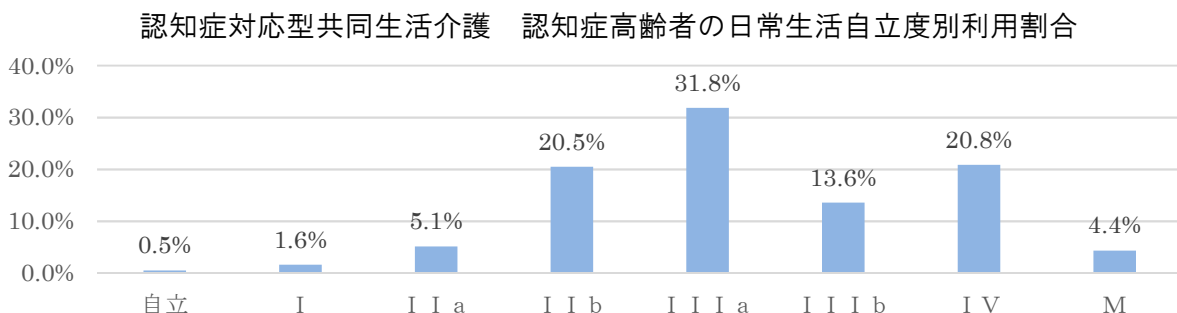
- 全国的に見ても高い整備率となっていますが、今後も見込まれる認知症高齢者の増加や、認知症ケアの専門性などを踏まえ、サービスの質を担保しつつ、整備量が少ない日常生活圏域（中学校区）を中心に2施設36床の整備を行います。



出典：事業者指導課独自集計



出典：事業状況報告年報データ



出典：事業状況報告年報データ



## (資料) 介護保険サービス資源等の状況 (高齢者人口1万人あたり)

### 1 政令市比較

○主な在宅系サービス（予防サービス含まず）

順位	訪問介護		訪問看護		訪問 リハビリテーション		通所介護		短期入所療養介護	
	市	値	市	値	市	値	市	値	市	値
1位	大阪市	33.6	川崎市	14.3	川崎市	5.7	北九州市	9.4	熊本市	2.4
2位	堺市	23.1	京都市	12.1	仙台市	4.8	岡山市	8.7	神戸市	2.1
3位	名古屋市	15.1	横浜市	10.7	京都市	4.0	熊本市	8.0	新潟市	2.0
4位	神戸市	13.5	相模原市	8.7	横浜市	3.7	静岡市	8.0	広島市	1.7
5位	熊本市	13.5	大阪市	8.1	相模原市	2.4	広島市	7.8	岡山市	1.7
6位	福岡市	12.2	堺市	8.0	名古屋市	1.5	浜松市	7.6	京都市	1.4
7位	京都市	12.1	名古屋市	6.7	札幌市	0.8	新潟市	7.6	名古屋市	1.3
8位	川崎市	12.0	福岡市	6.7	神戸市	0.6	福岡市	7.4	仙台市	1.3
9位	札幌市	11.7	熊本市	6.6	岡山市	0.6	さいたま市	7.1	大阪市	1.3
10位	広島市	11.4	広島市	5.9	浜松市	0.6	堺市	6.9	静岡市	1.2
11位	岡山市	11.2	札幌市	5.7	大阪市	0.5	京都市	6.5	札幌市	1.0
12位	北九州市	11.0	神戸市	5.6	熊本市	0.5	大阪市	6.4	さいたま市	1.0
13位	千葉市	10.7	北九州市	4.8	さいたま市	0.5	神戸市	5.8	横浜市	1.0
14位	相模原市	10.2	岡山市	4.6	広島市	0.3	名古屋市	5.7	千葉市	0.9
15位	さいたま市	9.3	さいたま市	4.2	北九州市	0.3	相模原市	5.5	堺市	0.9
16位	仙台市	9.2	仙台市	4.1	新潟市	0.3	川崎市	4.9	川崎市	0.8
17位	横浜市	9.1	千葉市	3.7	堺市	0.3	札幌市	4.6	相模原市	0.7
18位	静岡市	7.7	新潟市	3.4	千葉市	0.2	千葉市	4.4	福岡市	0.1
19位	新潟市	7.0	浜松市	2.9	福岡市	0.2	横浜市	4.2	浜松市	0.0
20位	浜松市	6.3	静岡市	2.8	静岡市	0.2	仙台市	1.3	北九州市	0.0

順位	福祉用具貸与		居宅介護支援事業者		夜間対応型訪問介護		地域密着型通所介護		認知症対応型通所介護	
	市	値	市	値	市	値	市	値	市	値
1位	大阪市	5.8	大阪市	20.4	横浜市	0.5	大阪市	8.2	熊本市	1.8
2位	堺市	5.6	堺市	15.9	京都市	0.3	熊本市	7.9	川崎市	1.8
3位	熊本市	3.2	熊本市	13.3	川崎市	0.3	相模原市	7.9	北九州市	1.4
4位	名古屋市	3.0	静岡市	12.5	広島市	0.2	岡山市	7.2	浜松市	1.4
5位	福岡市	2.8	岡山市	12.3	大阪市	0.1	名古屋市	6.9	横浜市	1.3
6位	北九州市	2.5	川崎市	12.0	相模原市	0.1	福岡市	6.7	静岡市	1.2
7位	静岡市	2.4	名古屋市	12.0	神戸市	0.1	北九州市	6.6	札幌市	1.2
8位	千葉市	2.3	さいたま市	11.8	札幌市	0.1	堺市	6.4	仙台市	1.1
9位	さいたま市	2.3	北九州市	11.7	名古屋市	0.1	川崎市	6.1	大阪市	1.1
10位	神戸市	2.3	福岡市	11.6	静岡市	0.0	横浜市	5.9	新潟市	1.0
11位	新潟市	2.2	千葉市	11.5	仙台市	0.0	千葉市	5.9	岡山市	1.0
12位	相模原市	2.2	広島市	11.4	北九州市	0.0	静岡市	5.6	名古屋市	0.9
13位	浜松市	2.1	京都市	11.3	福岡市	0.0	札幌市	5.5	堺市	0.8
14位	仙台市	1.9	新潟市	11.2	岡山市	0.0	仙台市	5.3	広島市	0.7
15位	川崎市	1.9	相模原市	10.4	千葉市	0.0	神戸市	4.9	神戸市	0.7
16位	岡山市	1.9	浜松市	9.9	さいたま市	0.0	浜松市	4.5	京都市	0.7
17位	札幌市	1.8	仙台市	9.8	新潟市	0.0	広島市	4.3	相模原市	0.6
18位	広島市	1.6	神戸市	9.7	熊本市	0.0	京都市	3.9	福岡市	0.5
19位	京都市	1.6	横浜市	9.4	浜松市	0.0	新潟市	3.7	さいたま市	0.5
20位	横浜市	1.5	札幌市	9.1	堺市	0.0	さいたま市	3.0	千葉市	0.2

○主な在宅系サービス（予防サービス含まず）（続き）

順位	通所 リハビリテーション		短期入所生活介護		小規模多機能型 居宅介護		看護小規模多機能型 居宅介護		定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	
1位	神戸市	24.3	新潟市	6.1	岡山市	3.9	静岡市	0.8	札幌市	1.4
2位	岡山市	3.7	広島市	5.3	札幌市	3.2	札幌市	0.7	川崎市	0.8
3位	大阪市	3.5	岡山市	3.9	新潟市	2.8	川崎市	0.6	岡山市	0.6
4位	広島市	3.5	浜松市	3.4	熊本市	2.5	堺市	0.6	広島市	0.6
5位	名古屋市	3.1	仙台市	3.4	京都市	2.4	仙台市	0.5	北九州市	0.5
6位	京都市	2.6	さいたま市	3.2	静岡市	1.7	新潟市	0.5	福岡市	0.5
7位	新潟市	2.3	神戸市	2.7	北九州市	1.7	熊本市	0.4	横浜市	0.5
8位	北九州市	1.8	千葉市	2.7	相模原市	1.6	神戸市	0.3	京都市	0.5
9位	福岡市	1.7	福岡市	2.6	川崎市	1.6	千葉市	0.3	神戸市	0.4
10位	さいたま市	1.6	京都市	2.6	仙台市	1.5	福岡市	0.3	相模原市	0.4
11位	横浜市	1.4	川崎市	2.6	福岡市	1.5	広島市	0.2	仙台市	0.4
12位	仙台市	1.3	静岡市	2.6	横浜市	1.4	横浜市	0.2	千葉市	0.3
13位	川崎市	1.2	熊本市	2.4	広島市	1.4	岡山市	0.2	名古屋市	0.3
14位	静岡市	1.1	大阪市	2.4	名古屋市	1.4	京都市	0.2	さいたま市	0.3
15位	札幌市	0.9	堺市	2.4	浜松市	1.3	大阪市	0.2	大阪市	0.2
16位	相模原市	0.9	相模原市	2.4	大阪市	1.1	相模原市	0.2	新潟市	0.2
17位	堺市	0.8	北九州市	2.4	神戸市	1.1	名古屋市	0.1	熊本市	0.2
18位	熊本市	0.1	名古屋市	2.3	堺市	1.0	北九州市	0.1	浜松市	0.2
19位	浜松市	0.0	横浜市	1.9	千葉市	1.0	さいたま市	0.1	静岡市	0.1
20位	千葉市	0.0	札幌市	1.7	さいたま市	0.5	浜松市	0.0	堺市	0.1

○主な施設系サービス

順位	介護老人福祉施設		地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護		介護老人保健施設		介護医療院・ 介護療養型医療施設		認知症対応型 共同生活介護		特定施設入居者生活介護	
1位	千葉市	2.3	岡山市	1.7	新潟市	1.9	熊本市	1.0	岡山市	6.2	さいたま市	4.6
2位	浜松市	2.3	新潟市	1.5	神戸市	1.4	京都市	0.5	静岡市	5.6	川崎市	3.7
3位	さいたま市	2.3	熊本市	1.0	熊本市	1.4	浜松市	0.4	広島市	5.1	岡山市	2.6
4位	広島市	2.2	京都市	0.8	仙台市	1.4	広島市	0.4	北九州市	5.1	神戸市	2.5
5位	相模原市	2.2	北九州市	0.8	岡山市	1.3	北九州市	0.4	札幌市	5.0	千葉市	2.4
6位	新潟市	2.2	浜松市	0.7	名古屋市	1.3	岡山市	0.3	川崎市	4.5	横浜市	2.3
7位	川崎市	2.2	福岡市	0.6	大阪市	1.2	福岡市	0.3	仙台市	4.4	大阪市	2.2
8位	仙台市	2.2	神戸市	0.6	静岡市	1.2	札幌市	0.2	相模原市	4.0	相模原市	2.0
9位	大阪市	2.1	仙台市	0.6	北九州市	1.2	相模原市	0.2	熊本市	4.0	熊本市	1.9
10位	神戸市	2.1	堺市	0.5	浜松市	1.1	神戸市	0.2	千葉市	3.9	名古屋市	1.9
11位	北九州市	2.1	名古屋市	0.5	広島市	1.0	新潟市	0.2	福岡市	3.8	福岡市	1.7
12位	静岡市	2.0	川崎市	0.3	京都市	1.0	静岡市	0.1	横浜市	3.6	北九州市	1.7
13位	岡山市	1.9	大阪市	0.2	横浜市	0.9	名古屋市	0.1	名古屋市	3.6	仙台市	1.7
14位	福岡市	1.9	札幌市	0.2	札幌市	0.9	千葉市	0.1	京都市	3.4	広島市	1.7
15位	京都市	1.8	広島市	0.2	さいたま市	0.9	川崎市	0.1	大阪市	3.4	札幌市	1.5
16位	堺市	1.8	相模原市	0.2	堺市	0.9	さいたま市	0.1	堺市	3.1	静岡市	1.5
17位	熊本市	1.8	静岡市	0.1	千葉市	0.8	横浜市	0.1	神戸市	3.1	堺市	1.5
18位	横浜市	1.7	さいたま市	0.1	福岡市	0.7	大阪市	0.1	新潟市	3.0	京都市	1.4
19位	名古屋市	1.6	千葉市	0.1	川崎市	0.7	堺市	0.0	浜松市	3.0	浜松市	0.9
20位	札幌市	1.5	横浜市	0.0	相模原市	0.7	仙台市	0.0	さいたま市	2.0	新潟市	0.8

出典：政令市調査（令和3年度実績）

2 日常生活圏域（中学校区）別 指定介護事業所・施設等の整備状況（令和5年4月1日時点）

福祉区		中学校区	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	居宅介護支援事業者	
1	北区中央 (7)	1	岡山中央	9	0	6	0	6	5	2	2	2	2	2	12
		2	岡輝	13	0	4	0	7	3	2	2	0	1	1	10
		3	桑田	19	1	10	0	6	4	3	2	1	5	5	17
		4	岡北	7	0	3	0	4	4	0	2	0	1	1	5
		5	石井	13	0	6	0	9	3	2	3	0	0	0	10
		6	御南	15	0	7	0	7	8	3	1	0	3	3	11
		7	吉備	4	1	1	0	6	6	2	2	0	0	0	6
2	北区北 (7)	8	京山	3	0	4	0	4	3	2	2	3	0	0	4
		9	中山	6	0	1	1	7	2	4	2	2	0	0	5
		10	香和	4	0	2	1	2	1	1	4	1	0	0	3
		11	高松	4	0	2	1	4	3	4	2	2	0	0	5
		12	足守	0	0	0	0	3	0	3	3	3	0	0	3
		13	御津	1	0	1	0	1	6	1	3	0	0	0	5
		14	建部	2	0	1	1	3	2	1	3	1	0	0	6
3	中 (6)	15	東山	4	0	5	0	4	3	1	1	0	1	1	6
		16	操山	7	0	3	0	7	6	2	2	0	2	2	14
		17	高島	5	0	1	1	5	5	4	4	0	0	0	3
		18	操南	5	0	4	0	4	3	3	2	1	1	1	7
		19	富山	1	0	1	0	3	3	0	2	0	0	0	6
		20	竜操	9	0	4	0	5	8	3	2	1	1	1	8
4	東 (6)	21	旭東	4	1	1	0	8	3	2	1	1	0	0	4
		22	上南	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2
		23	西大寺	12	0	6	0	5	8	3	2	4	2	2	11
		24	山南	2	0	0	0	3	1	2	2	1	0	0	3
		25	上道	4	0	1	0	4	2	1	2	0	0	0	9
		26	瀬戸	5	0	3	1	4	0	2	2	1	1	1	6
5	南区西 (5)	27	福田	3	0	2	0	1	4	3	2	1	0	0	4
		28	妹尾	1	0	6	1	3	2	1	2	1	1	1	4
		29	興除	1	0	1	1	3	2	3	2	1	0	0	4
		30	藤田	4	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	3
		31	灘崎	2	0	2	0	3	3	2	1	1	1	1	4
6	南区南 (5)	32	福浜	11	0	4	0	7	8	0	3	0	1	1	4
		33	芳泉	14	1	2	0	7	7	0	3	0	3	3	8
		34	福南	4	0	3	0	2	2	3	1	3	2	2	4
		35	芳田	13	1	6	0	10	7	1	3	0	8	7	10
		36	光南台	2	0	0	0	3	1	0	2	0	0	0	2
合計			213	5	105	8	162	130	67	76	31	37	36	228	

(続き)

福祉区		中学校区	介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
1	北区中央 (7)	1 岡山中央	1	0	2	0	0	3	1	1	0	0	1	0
		2 岡輝	2	0	0	0	1	1	4	0	0	1	1	0
		3 桑田	1	1	1	0	0	3	3	1	0	1	3	0
		4 岡北	1	1	0	0	0	1	4	1	0	0	2	0
		5 石井	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	6	1
		6 御南	1	1	0	0	0	3	4	1	0	1	2	0
		7 吉備	1	1	0	0	0	2	5	1	0	0	4	1
2	北区北 (7)	8 京山	1	1	1	0	1	2	2	0	0	1	3	0
		9 中山	0	1	2	0	0	0	4	1	0	0	1	0
		10 香和	2	1	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0
		11 高松	1	1	2	0	0	0	5	1	0	0	5	0
		12 足守	2	1	2	1	0	1	4	0	0	0	1	0
		13 御津	2	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0
		14 建部	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0
3	中 (6)	15 東山	0	1	0	0	0	2	4	0	0	0	1	1
		16 操山	0	1	0	0	0	4	3	1	0	2	1	0
		17 高島	1	2	0	0	0	2	3	1	0	1	2	0
		18 操南	1	1	1	0	1	0	3	0	0	3	3	0
		19 富山	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0
		20 竜操	1	1	1	0	0	1	3	0	0	0	3	0
4	東 (6)	21 旭東	1	1	1	0	0	0	4	0	0	1	0	0
		22 上南	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
		23 西大寺	1	1	3	0	1	6	4	2	0	1	3	0
		24 山南	2	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0
		25 上道	2	1	0	0	0	2	6	1	0	1	2	0
		26 瀬戸	1	1	1	0	0	1	5	0	0	0	2	0
5	南区西 (5)	27 福田	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0
		28 妹尾	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	2	0
		29 興除	1	1	1	0	0	3	3	0	0	0	2	0
		30 藤田	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0
		31 灘崎	1	0	1	0	0	0	6	2	0	0	1	0
6	南区南 (5)	32 福浜	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1
		33 芳泉	1	1	0	0	0	2	3	0	0	3	5	0
		34 福南	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	2	0
		35 芳田	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
		36 光南台	1	1	0	0	0	1	4	0	0	1	1	0
合計			36	33	25	1	4	48	116	14	0	19	72	4

出典：事業者指導課独自集計